

# 企業におけるスマホ・タブレット利用動向 とBYODの実態

2013年11月22日

モバイルソリューションを推進する

MCPG

スマートモバイル活用委員会 調査WG主査 三菱総合研究所 経営コンサルティング本部 宮崎 要

#### ■ MCPCの概要

#### モバイルコンピューティング推進コンソーシアム

1997年 移動体通信会社、ハードメーカ、ソフトメーカ、システム インテグレータによる市場形成と拡大を目的に設立

■ 幹事会員:12社



















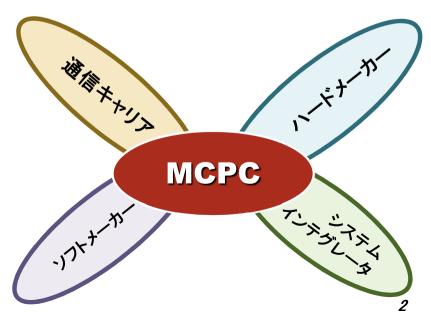






- 正会員:57社
- ベンチャースクウェア会員:10社
- 相互協力会員 :17団体
- 賛助会員:71社

合計167社 (2013年11月現在)



#### 活動開始時期

- 2012年4月~
- 2012年3月に「スマートフォン推進委員会」と「モバイル活用委員会」を統合

#### 活動目的

● 中小企業におけるスマートデバイスの活用推進

ユーザへの情報発信 ユーザの声の収集



#### 活動内容

- 各種セミナーの開催・講師派遣
- ワイヤレスジャパン セミナー/展示
- スマートデバイスに関する市場調査
- スマートデバイス活用事例集の作成

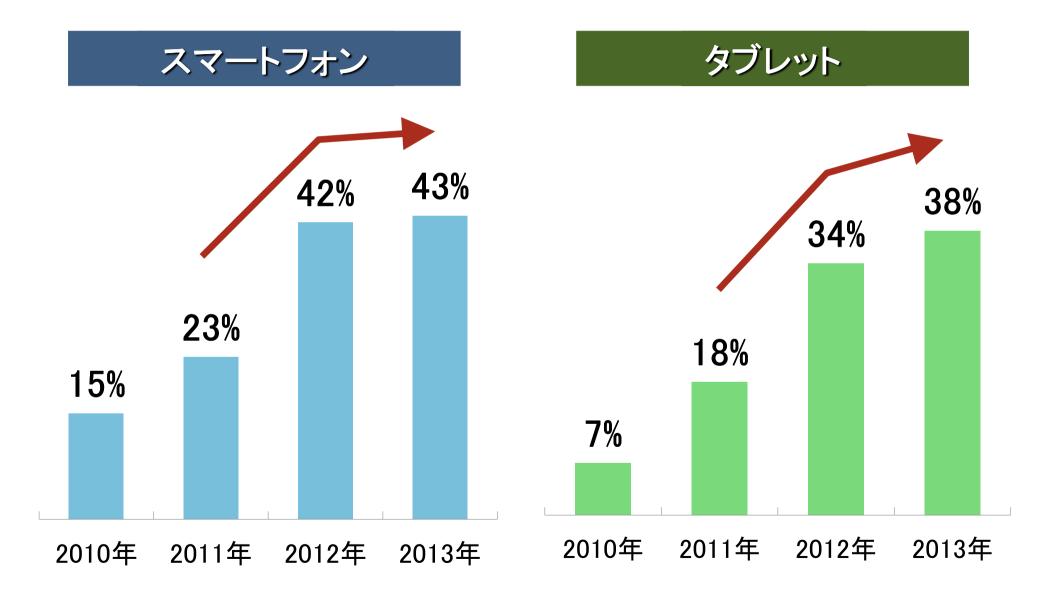
# 調査概要

調査方法	●Webアンケート調査
調査時期	●2013年10月26~28日
対象者	●企業のモバイル機器の導入決裁権者または 決裁関与者
回収数	● 1, 806サンプル
標本抽出方法	●Webアンケート調査会社のモニター登録会員 を対象に予備調査を実施し、その回答結果から対象者を無作為抽出



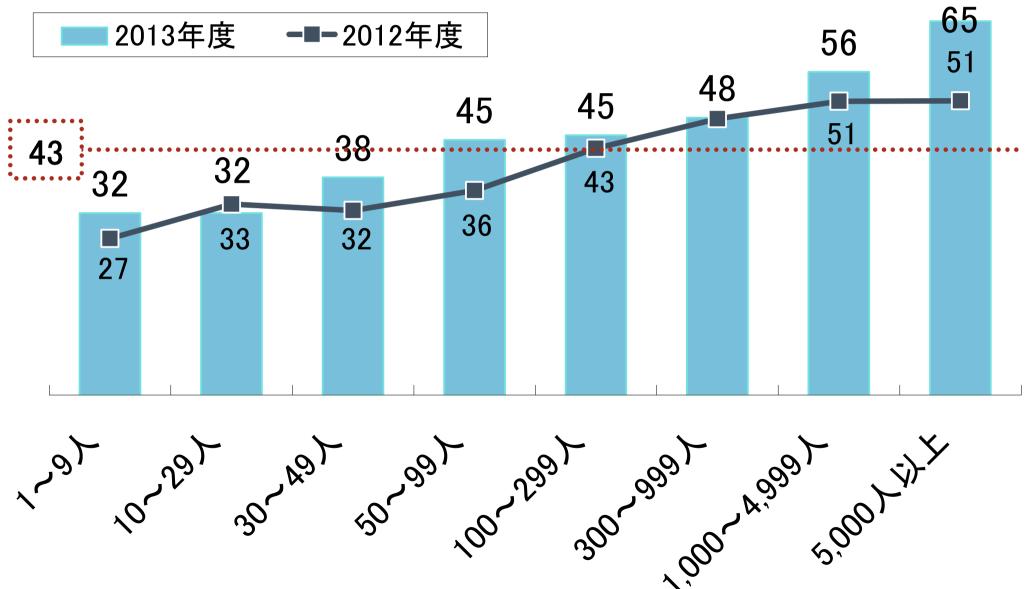
### ■ スマホ・タブレット導入状況

### スマホ・タブレットともに伸びは鈍化



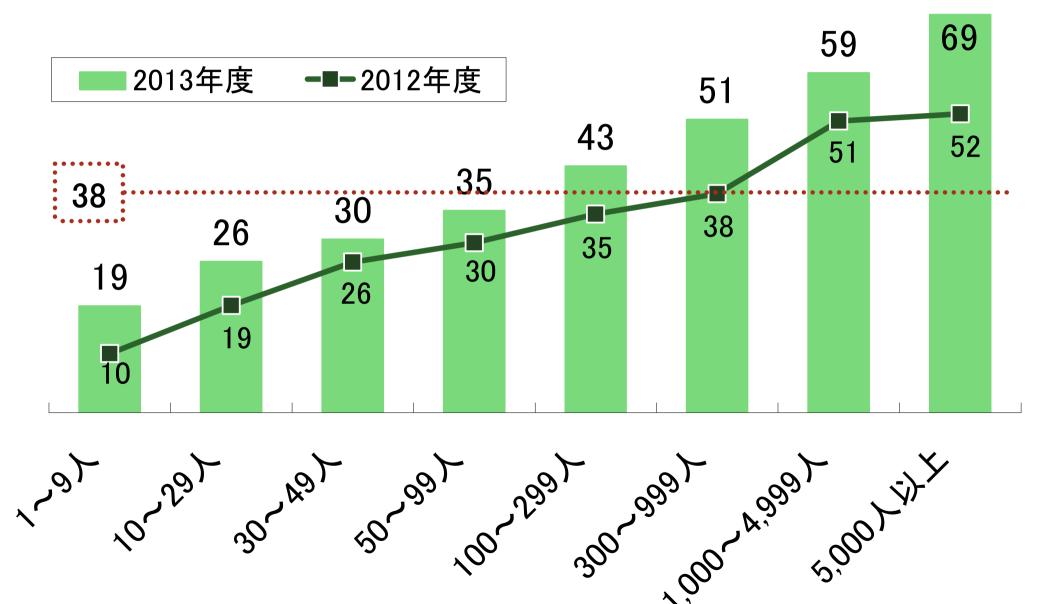
### 規模別スマホ導入状況

#### いずれの規模でも微増



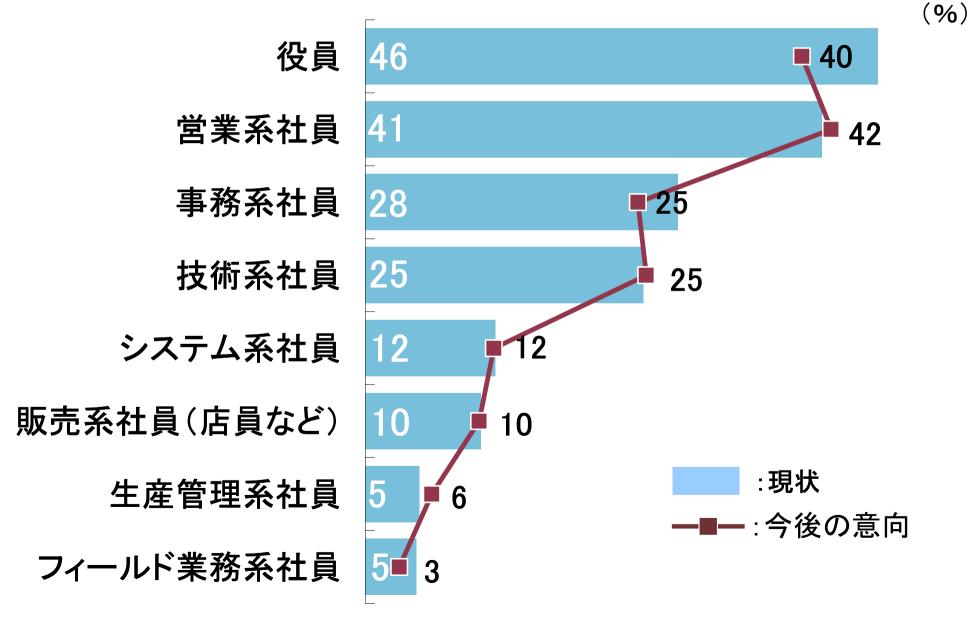
## 規模別タブレット導入状況

#### スマホより大きい伸び



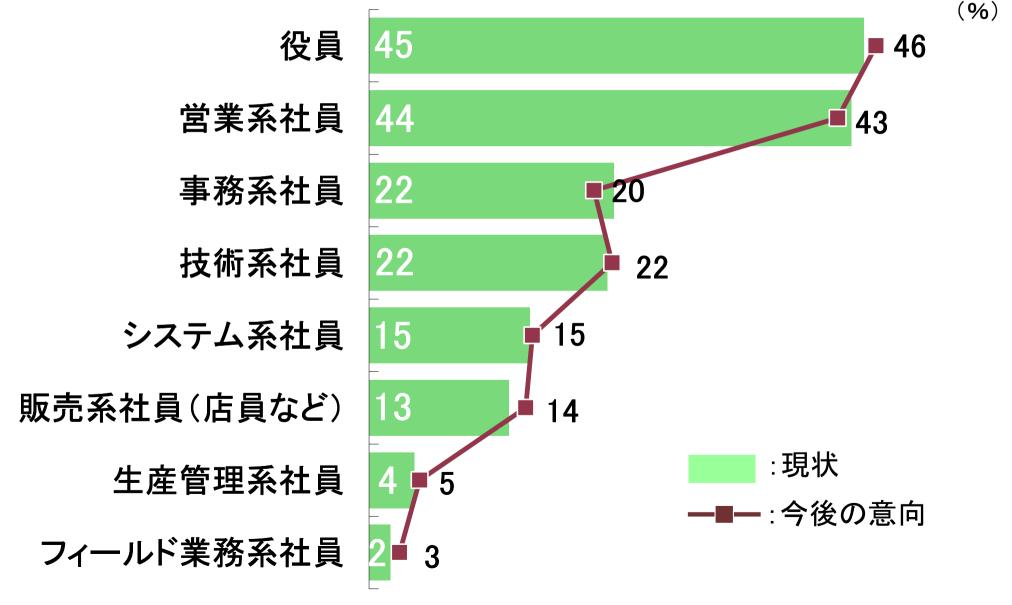
### ■ スマホ配布社員

#### 営業系社員への導入がメイン



### ■ タブレット配布社員

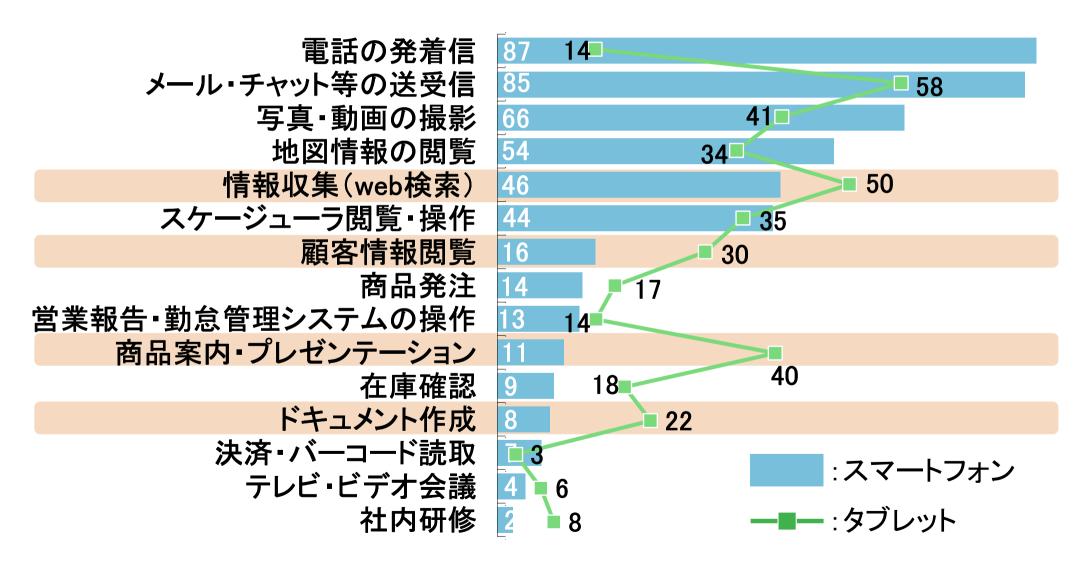
#### スマホと大きく変わらず



### ■活用業務内容

#### タブレットは「顧客情報閲覧」「プレゼン」「ドキュメント作成」

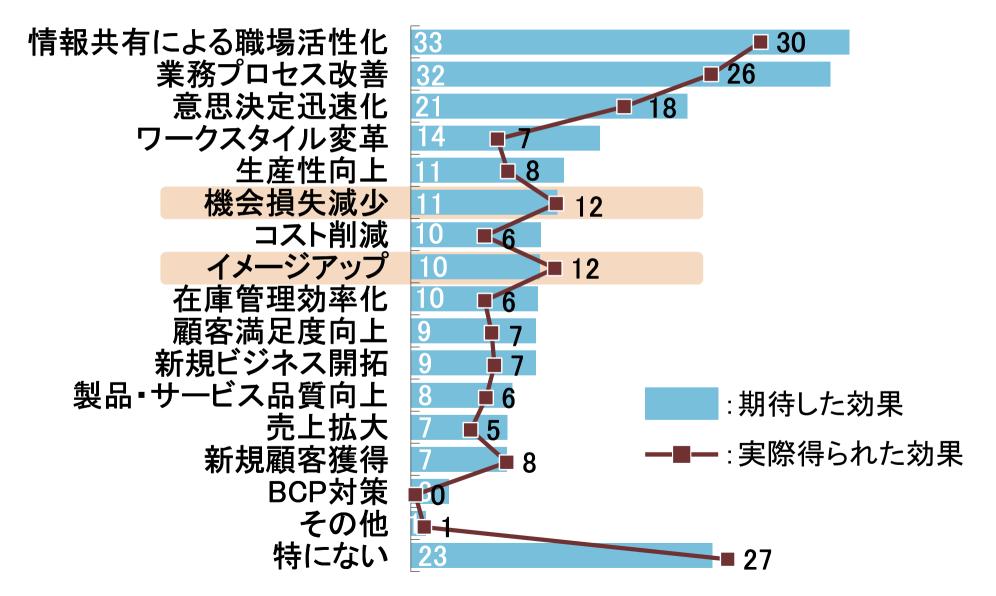
(%)



### ■ スマホへの期待と現実

### 「期待」と「現実」にギャップ

(%)



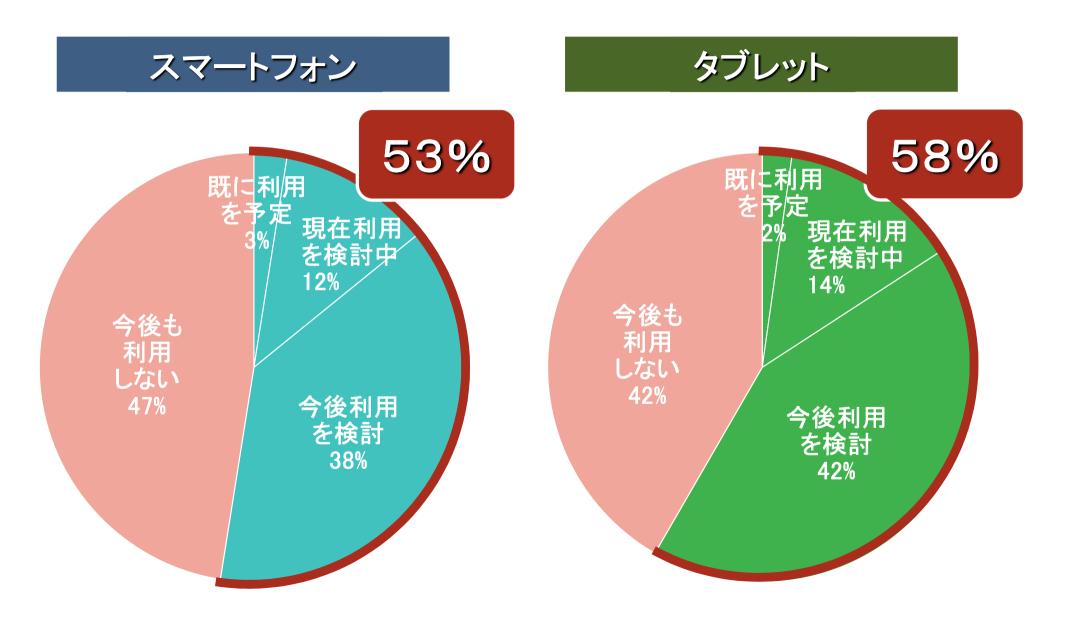
## ■ タブレットへの期待と現実

#### 「新規顧客・ビジネス開拓」への期待が大きい

(%)情報共有による職場活性化 業務プロセス改善 顧客満足度向上 機会損失減少 23 ワークスタイル変革 売上拡大 新規顧客獲得 イメージアップ 19 新規ビジネス開拓 コスト削減 意思決定迅速化 生産性向上 製品・サービス品質向上 在庫管理効率化 :期待した効果 BCP対策 ■―:実際得られた効果 その他 特にない

## ■ 今後の新規・追加導入意向

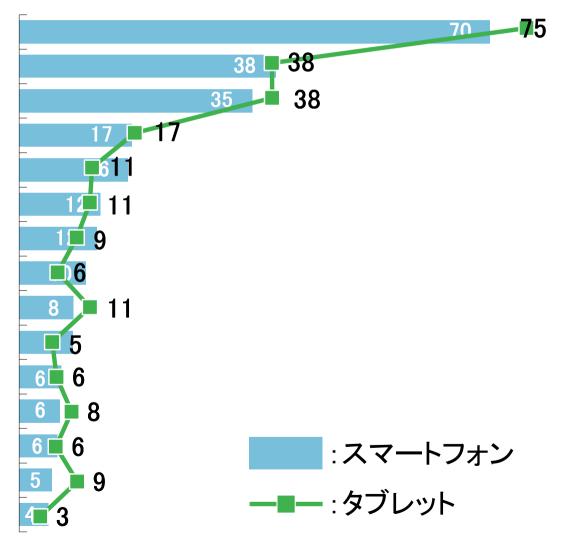
#### スマホ・タブレットともに50%以上の導入意向



### 未利用の理由

#### 「業務への活用メリット」の訴求がカギ

そもそも業務に不要 料金に見合うほど活用できない 料金負担するだけの余裕がない 社外業務がほとんどない 業務に適した端末や機能がない モバイルを利用しても効率化にならない 情報漏えいが不安 他のモバイル機器を利用している 利用効果がよくわからない 私的利用を取り締まれない データ紛失が不安 情報を迅速に伝達する必要性がない ウィルス感染が不安 システム構築に費用がかかる その他



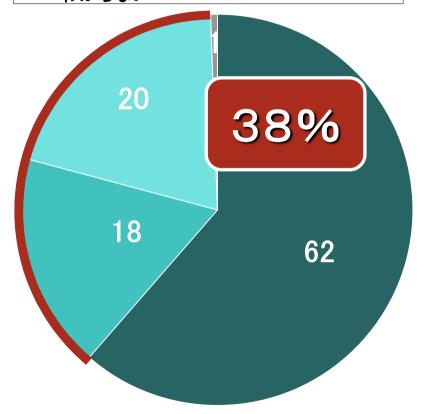
#### *smart.ilphone*



## ■ BYOD導入状況

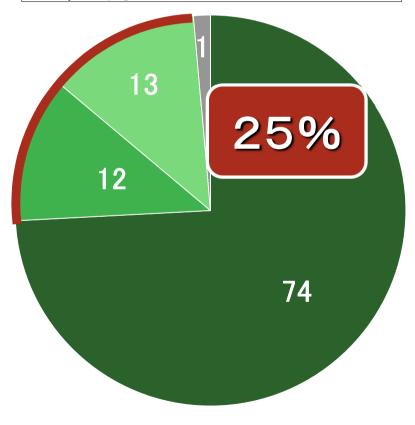
#### スマートフォン

- ■会社支給端末のみを利用
- ■個人所有端末のみを利用
- ■会社支給・個人所有両方の端末を利用
- ■わからない



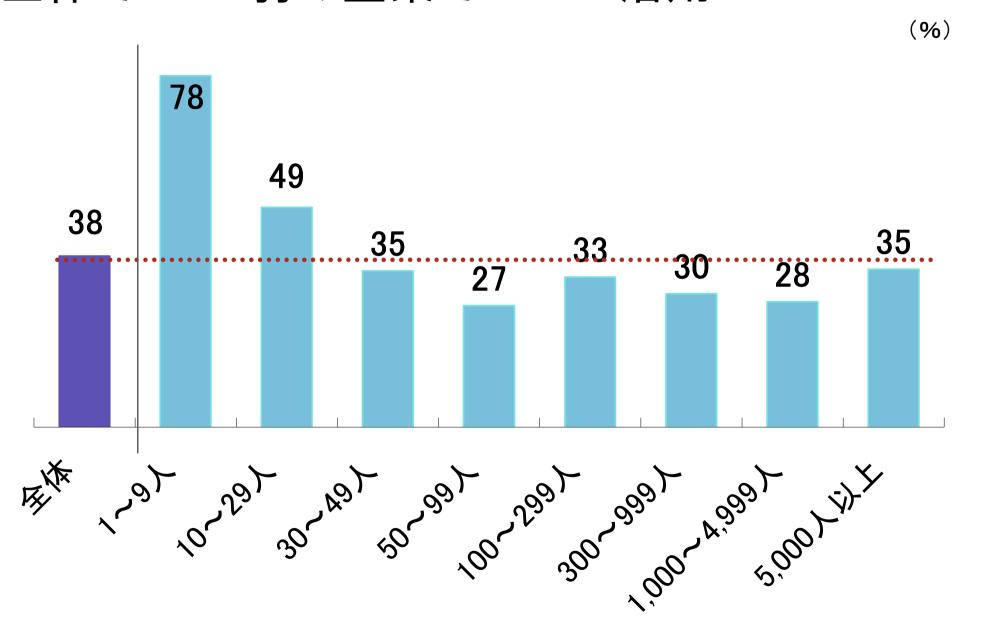
#### タブレット

- ■会社支給端末のみを利用
- ■個人所有端末のみを利用
- ■会社支給・個人所有両方の端末を利用
- わからない



### ■ スマホ BYODの導入状況

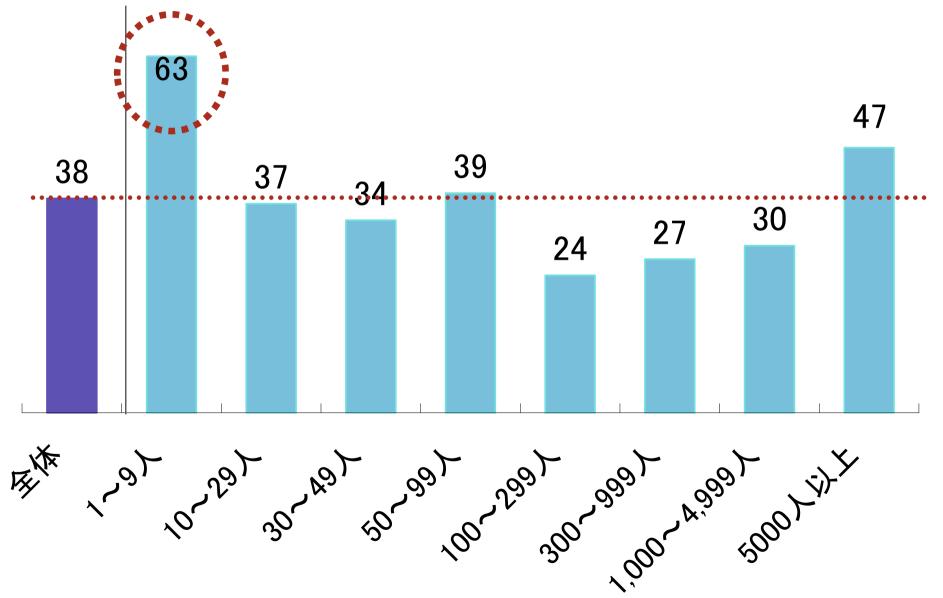
#### 全体で40%弱の企業でBYOD活用



### ■ スマホ 今後のBYOD意向

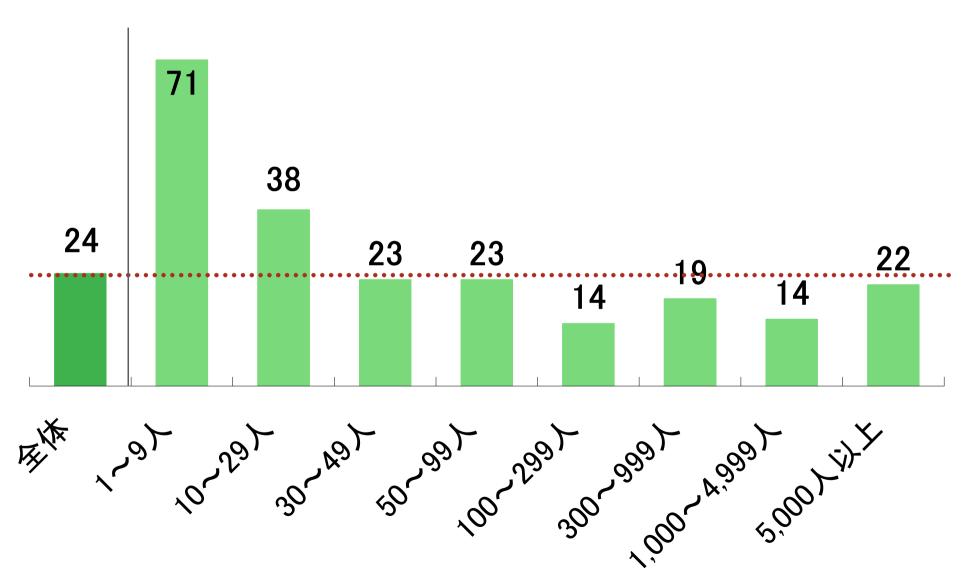
### 今後についても40%弱の企業で導入意向

(%)

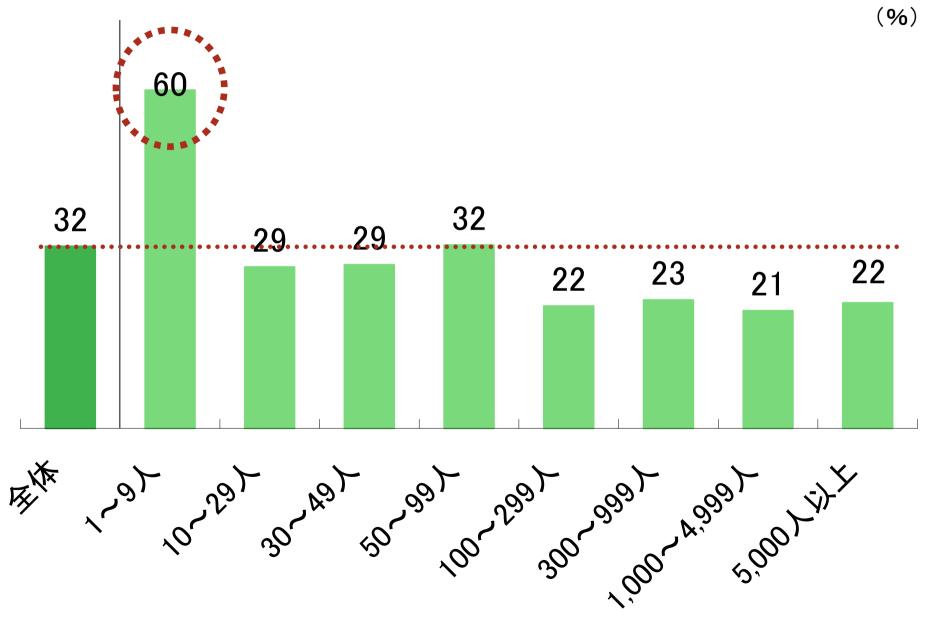


#### 全体で20%強の企業でBYOD活用

(%)



### 今後についても30%強の企業で導入意向



#### スマホでは40%弱、タブレットでは50%強が黙認

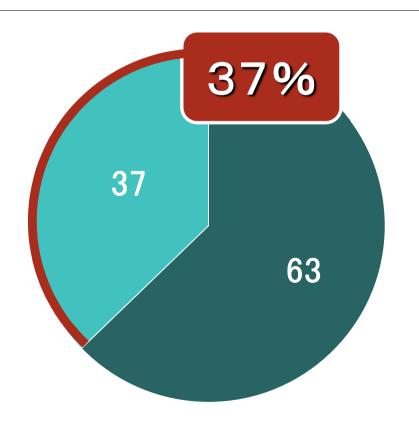
(%)

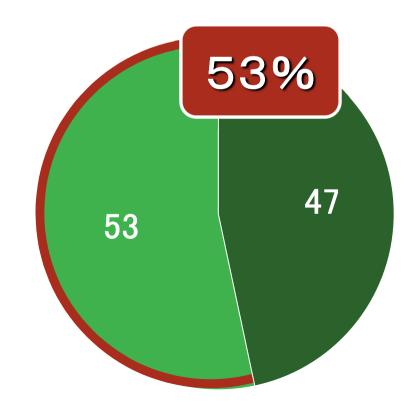
#### スマートフォン

- ■一定の利用条件を課すなど、BYODを認めている
- ■BYODを明確には認めていない

#### タブレット

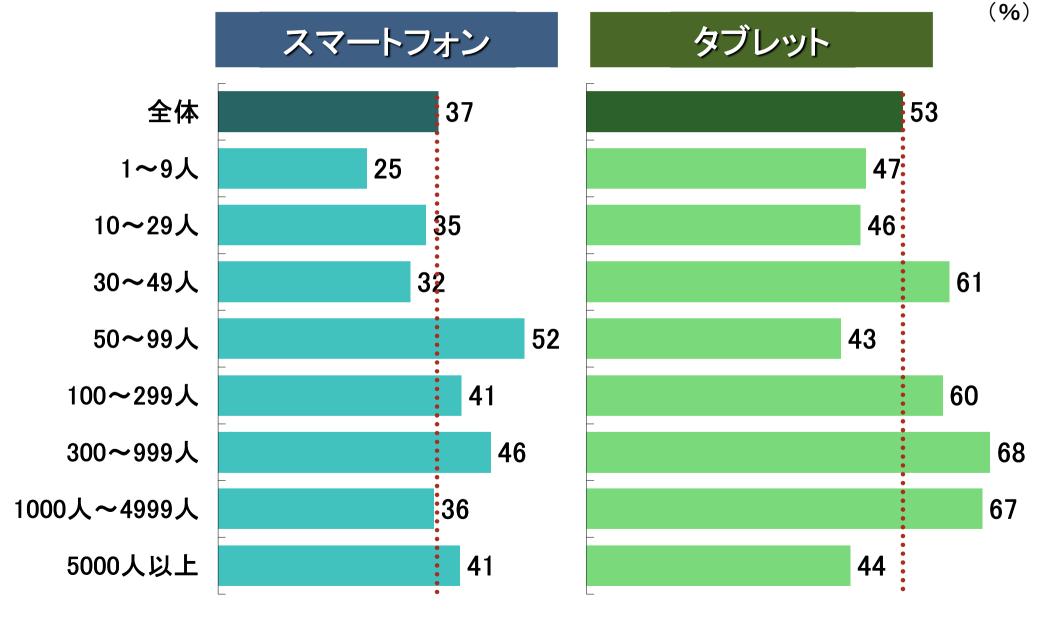
- ■一定の利用条件を課すなど、BYODを認めている
- ■BYODを明確には認めていない





### ■BYOD黙認状況

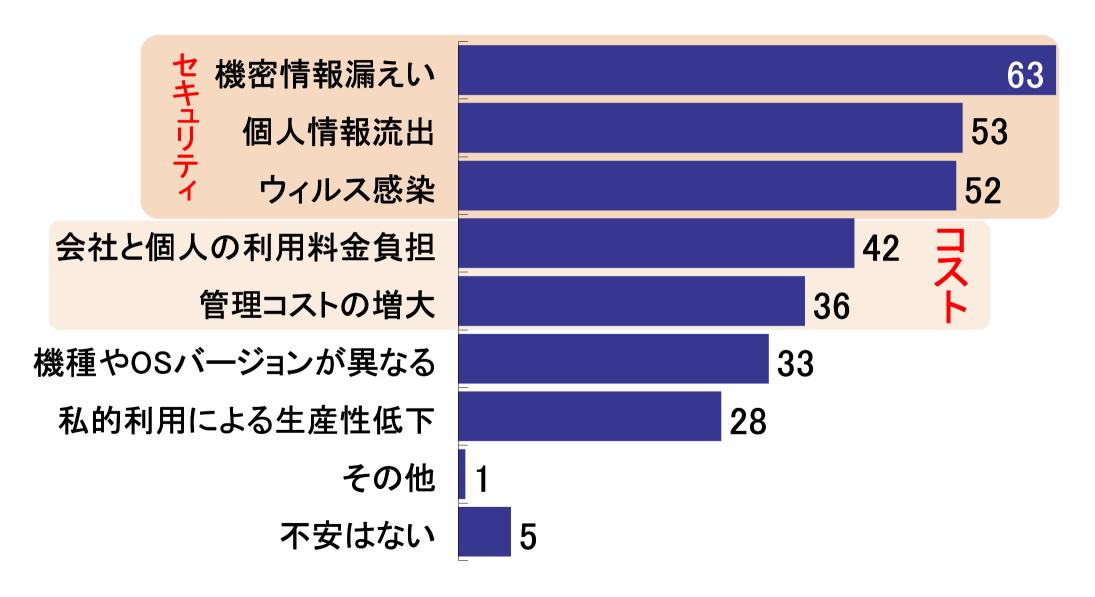
#### 中小企業の方がBYOD黙認率が低い



## ■ BYODに対する不安

#### 「セキュリティ」「コスト」での不安が高い

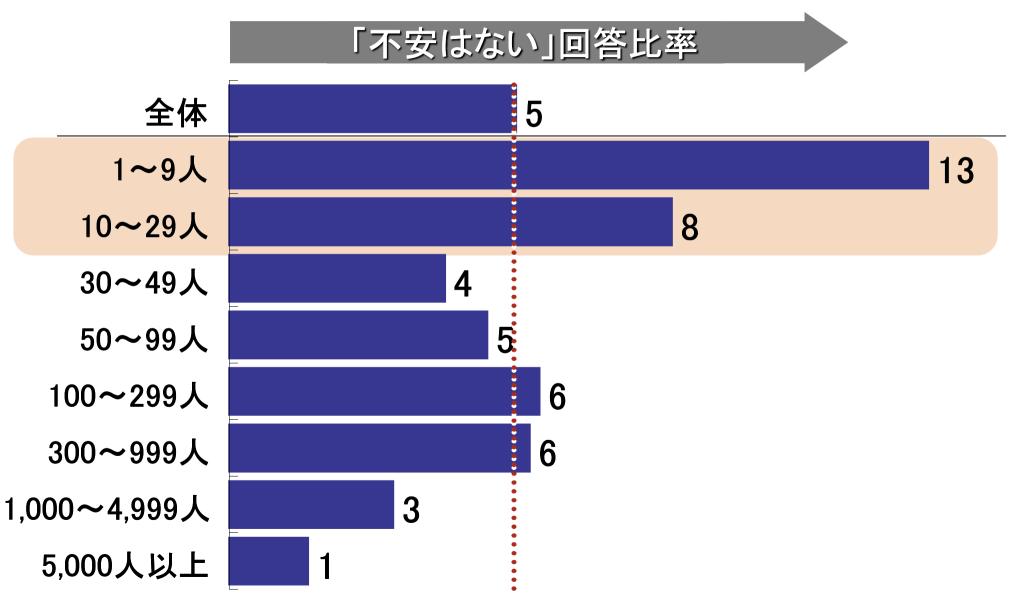
(%)



## 規模別「BYODに対する不安」

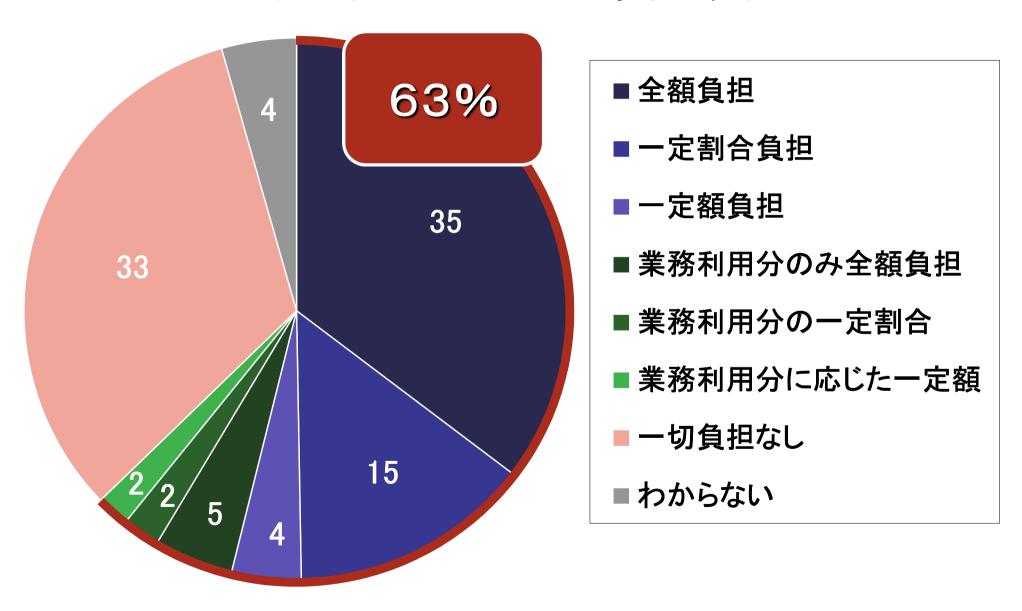
### 「中小企業」に対する啓蒙が必要

(%)



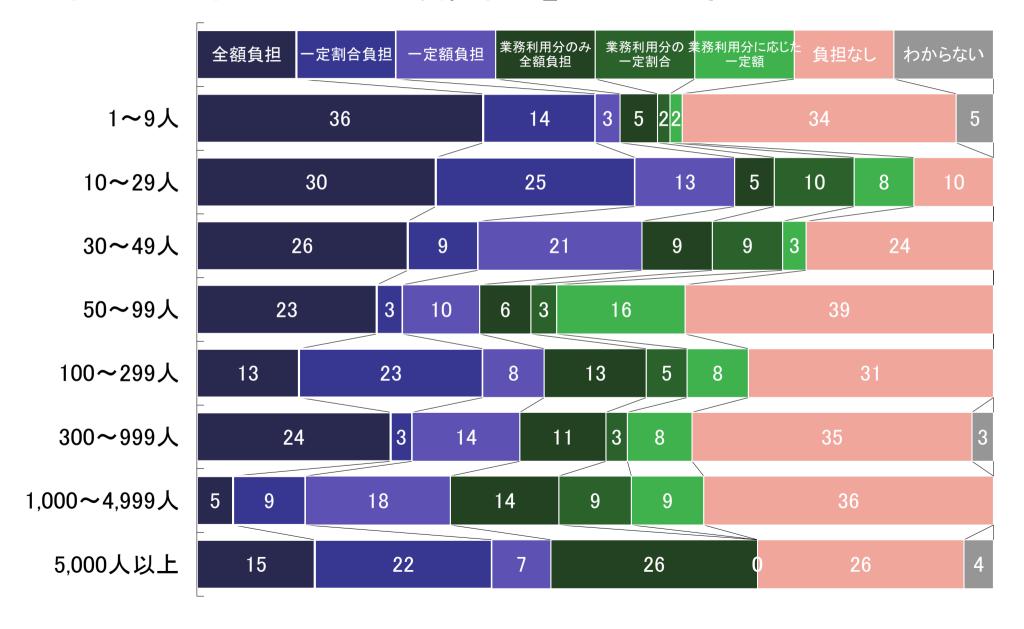
## ■ 費用負担のあり方

### 3分の2の企業で何らかの形で費用負担



## 費用負担のあり方

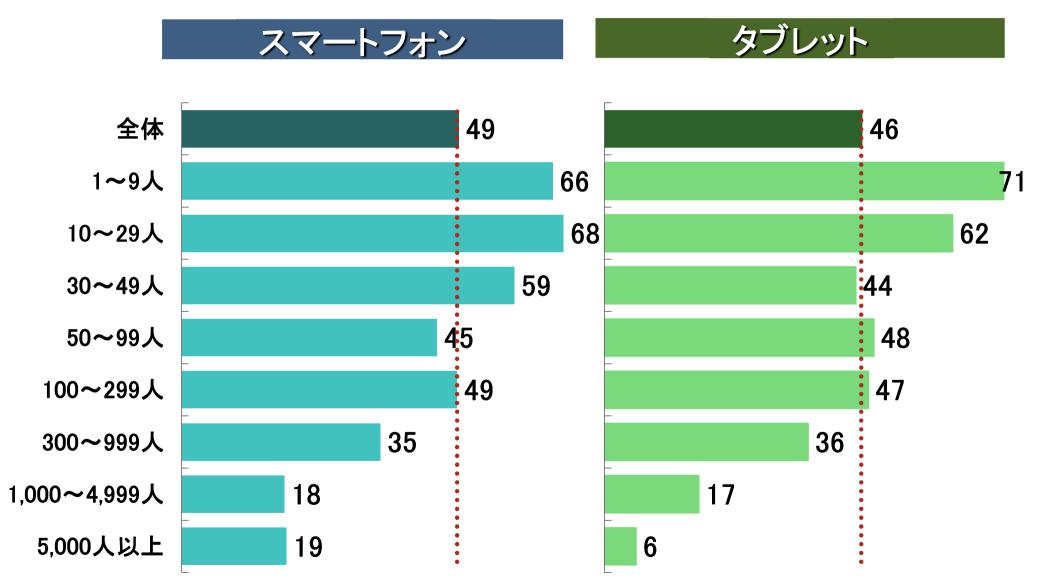
#### 中小企業ほど「全額負担」割合が高い



### ■「セキュリティ対策」未実施状況

#### 約5割の企業で何も対策が施されず

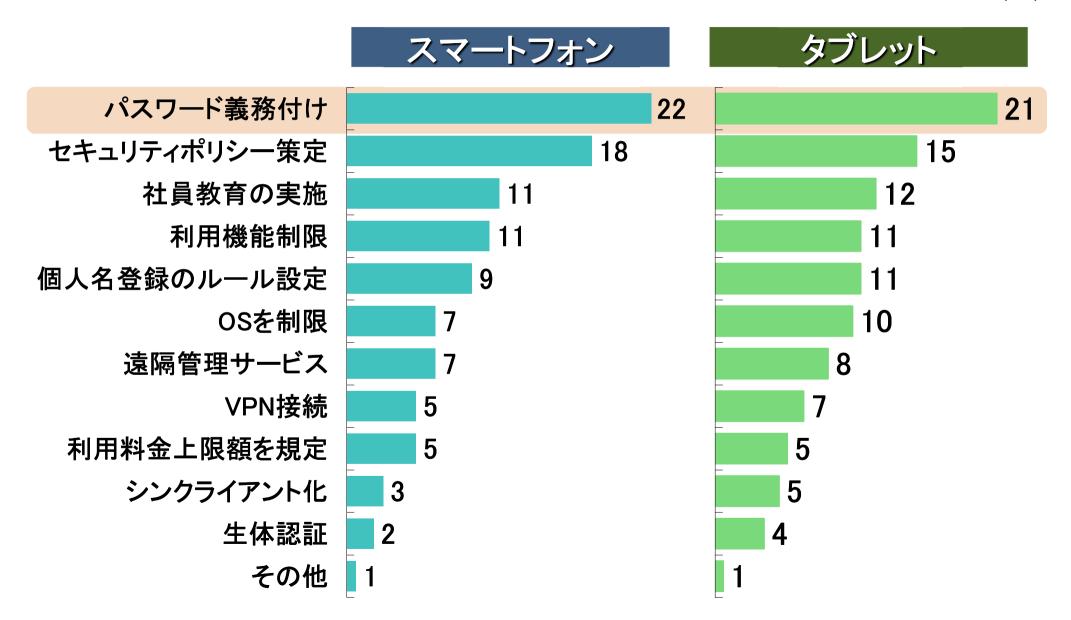
(%)



### ■ BYODでのセキュリティ対策内容

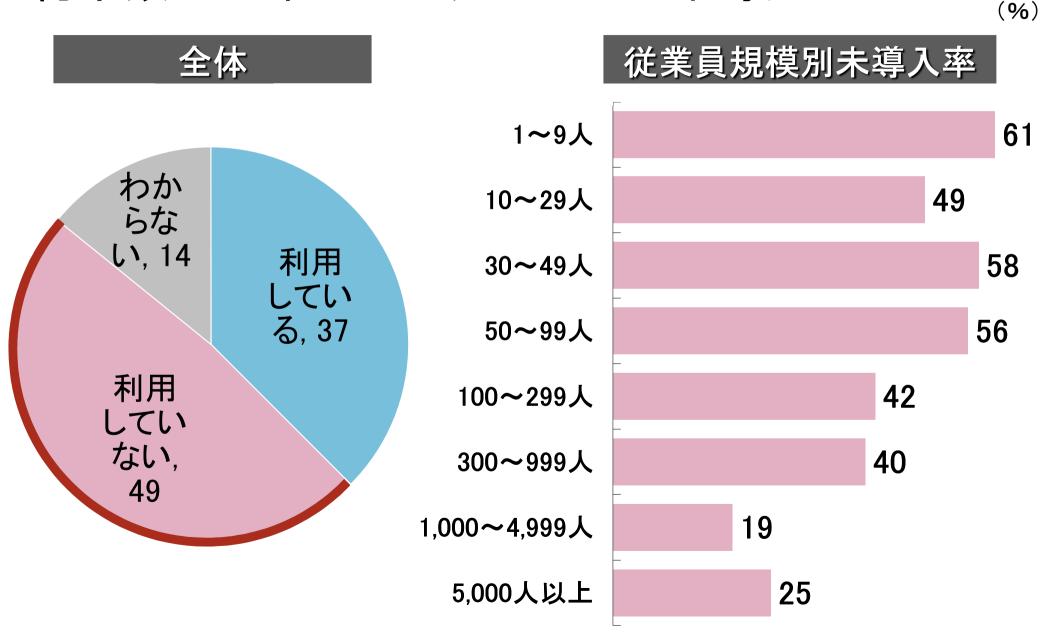
### 「パスワード設定」が主な対策

(%)



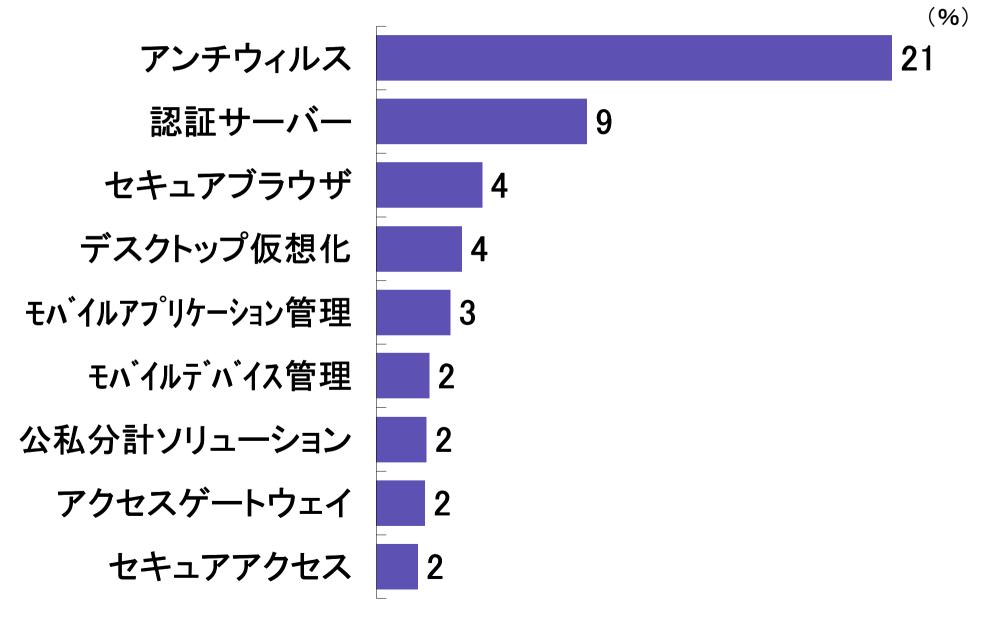
### ■BYODソリューション利用状況

#### 約半数の企業ではソリューション未導入



#### ■BYODソリューション利用状況

#### 「アンチウィルス」でも20%程度の導入率



### 1. スマホ・タブレット導入企業は今後も増加

● 現未導入企業の約半数で、導入検討

#### 2. 中小企業を中心とした「成り行きBYOD」の横行

●「コスト負担無し」「セキュリティ対策未実施」である「成り行き BYOD」が大半

#### 3.「成り行きBYOD」対策への需要拡大

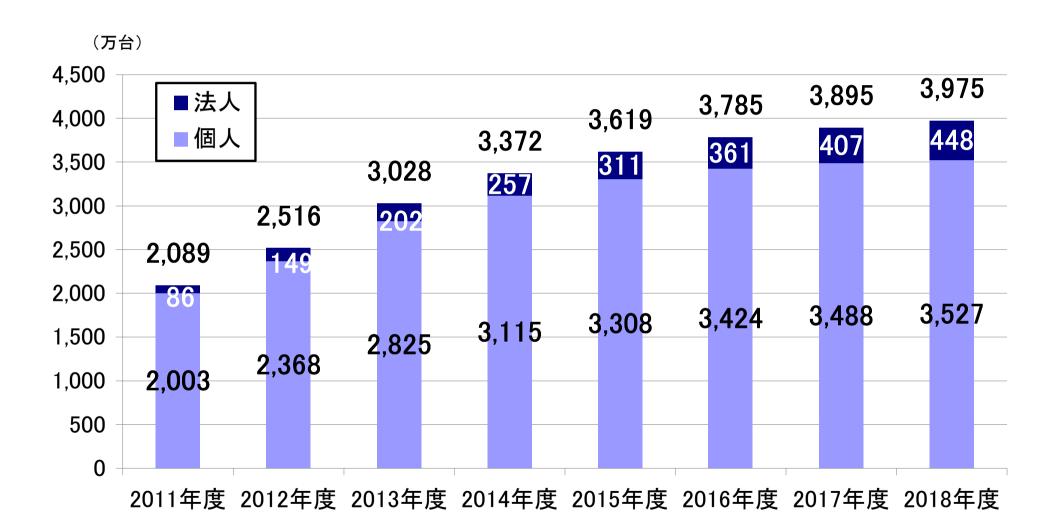
- 中小企業を中心とした「セキュリティリスク」「通信費分担を 巡るトラブル」顕在化の可能性
- BYODソリューション需要拡大の可能性

## *smart.ilphone*



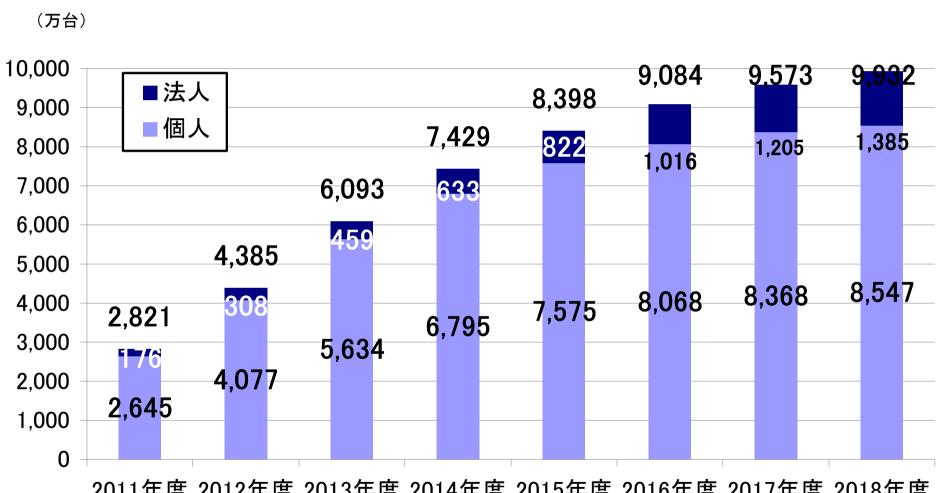
### ■ スマートフォン出荷台数予測

#### 2013年度は3,000万台を超える見込み



## ■ スマートフォン契約数予測

#### 2013年度は6,000万台を超える見込み



2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度

### タブレット販売台数予測

### 2013年度以降も順調に推移

